



出会ってみよう！国際協力
JICA 関西のプログラム
あなたの教室と世界を
結びます



学校や地域での国際理解、主体的で対話的な学びの実践に
世界を知ろう、考えよう
開発教育支援事業のご案内

グローバル教育

主体的で対話的な学び
(アクティブ・ラーニング)

キャリア教育

国際教育

ESD
(持続可能な開発のための教育)
SDGs
(持続可能な開発目標)

平和教育
人権教育

環境教育

修学旅行
スタディツアー
フィールドワーク
(事前学習等)

What's JICA?

JICA は国際協力機構(Japan International Cooperation Agency) のことです。

日本が実施する政府開発援助(ODA)の二国間援助を行う実施機関で、世界 150 以上の国と地域、日本国内 15 ヶ所の国内拠点で開発途上国の課題解決に取り組んでいます。

開発途上国が抱える課題に対し、日本が持っている解決策(資金や資材、技術や経験、人材等)を活用してその国のより良い国づくりに協力しています。

JICA は日本と開発途上国との「架け橋」となって、国際協力事業に取り組んでいます。





JICA 関西の開発教育支援プログラム

世界を知って、 考えて、行動しよう！

グローバル化が進む世界では、地球に住む私たち自身が自らのライフスタイルを見つめなおし、国際社会が抱える課題に取り組むことが急務となっています。

JICAでは、日本政府が行う開発途上国における国際協力事業で培った知見・経験・人材を活用し、日本の地域や学校の教育現場で「国際協力への理解と参加促進」「未来の地球を担う人材育成」を目的に開発教育支援事業を実施しています。

国際社会における開発問題を知り、自分で何ができるのかを考え、自ら行動できるグローバル人材の育成の一助として、JICAの開発教育支援事業をご活用ください。

Contents

教室に世界がやってくる！ JICA 国際協力出前講座	4
世界と出会う！ JICA 海外技術研修員との交流	7
日本の国際協力を知ろう！ JICA 関西訪問プログラム	8
世界を見つめよう！ JICA 国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト	11
国際協力を体感！ 職場体験	12
授業で使える！ 先生のお役立ちサイト	12
世界に飛び立つ！ 教師海外研修	13
授業に役立つ！ 開発教育指導者研修	14
お申込み・お問い合わせ	14

教室に世界がやってくる！

JICA国際協力出前講座



開発途上国の状況や、国際協力の現場の様子などを、JICA海外協力隊などのJICA ボランティア経験者等が、みなさんのところに向いてお話しします。現場で活躍した人だからこそその貴重な体験談やエピソードをお届けします。

国際教育や総合的な学習の時間だけでなく、人権、平和、環境、多文化共生などの学習や学校内外での教員研修などにご活用ください。

■申込からの流れ

こんな講師いるのかな？

- 下の問い合わせ先へまずはお相談ください。
- 依頼が決定したら、5 ページの依頼書と 6 ページの申込書で正式にご依頼ください。

どんな授業にしようかな？

- 担当者が依頼に沿った講師を紹介します。
- 当日までに、講師と打合せを行ってください。
- よりよい学習のために、事前・事後学習などを行えばさらに効果的です。

いよいよ当日!!

- 実施後は、評価アンケートを提出してください。

内容 ご希望に応じた講師を紹介します。講師との連絡調整に時間を有するので、少なくとも 1 か月前までにご依頼ください。特定の国、地域、専門的なテーマのご依頼には対応できない場合がありますので、ご了承下さい。

対象 学校等の教育機関、地方自治体、市民団体など

実施日 通年

費用 講師の謝金・交通費につきましては、原則としてお申込み団体のご負担をお願いしています。謝金については、団体・学校や自治体における講師謝金単価基準がある場合は、そちらに基づきご相談ください。単価基準がない場合は、目安としては一人当たり 1 時間 4,600 円 (JICA 規程に基づく) です。

問合せ先 JICA 関西国際協力出前講座担当

TEL. (078) 261-0384 FAX. (078) 261-0357 E-mail : jicaksic-ed1@jica.go.jp

出前講座



URL

体験者の声

JICA ボランティア体験談を聞きました。

- 実際に開発途上国で活動した人でしか撮れない写真や動画を見せていただき、リアルな現場の話が聞けてよかったです。
- 途上国の状況や子どもたちの様子がわかり、その国を身近に感じました。

JICA 国際協力出前講座 <依頼書様式見本>

年 月 日

独立行政法人国際協力機構
関西センター

貴校・団体名称
代表者名 (公印等)

件 名 (依頼)

注意：貴校・団体の公文書
として送付いただきます。
(押印をお願いいたします。)

記

1. 日 時： 年 月 日 ○○時○○分から○○時○○分まで
2. 場 所：(プログラムを実施する場所をご記入ください。)
3. 目 的：(貴団体のご意向・期待する効果をご記入ください。)
4. 対象者・人数：(対象学年や年代、人数をご記入ください。)
5. 内 容：添付の申込書のとおり (次ページに申込書様式があります。)
6. 備 考：(特記事項がありましたらご記入ください。)
7. 今後の手続き等については、JICA 関西が開発教育支援事業にかかる業務を委託している公益
社団法人青年海外協力協会と直接行うことを了承いたします。

以 上

※上様式は、JICA 関西 HP の **JICA 国際協力出前講座のページ** からダウンロード可能です。

⇒<https://www.jica.go.jp/kansai/enterprise/kaihatsu/demae/index.html>

依頼書送付先：JICA 関西国際協力出前講座担当

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2

※お手数ですが、公文書として押印の上、郵送にてご提出ください。



世界と出会う！

JICA海外技術研修員との交流



JICA 関西では、150 か国以上の開発途上国から技術研修員（政府の行政官や技術者など）を毎年 1,600名以上受け入れています。

児童・生徒や教員のみなさんと研修員とが直接交流することによって、開発途上国に対する理解や国際協力・多文化共生について考えるきっかけづくりになるプログラムです。

■交流実践事例

- ◆研修コース：環境問題に関するコース
- ◆出身国：アルゼンチン、キューバ、ホンジュラス、マラウイ、モザンビーク、セルビア、南スーダンなど
- ◆校種：小学校
- ◆学年：3・4年生
- ◆時間：3時間

歓迎のあいさつ……………児童の代表が、歓迎のあいさつを研修員の母国語でしました。

研修員へのインタビュー……………研修員と共に「ごみ分別クイズ」、ごみ問題についての発表、環境問題について質疑応答を行いました。交流の前から日本と途上国の環境問題について調べ学習し、その内容を発表しました。また、学習の中から出てきた疑問を、直接研修員に聞きました。

給食交流……………各クラスで研修員と一緒に給食を食べました。

分科会……………グループごとに、研修員と日本の遊びを一緒に行い、文化の一つとして紹介しました。

お礼のあいさつ……………児童の代表が、お礼のあいさつを英語でしました。

校内の見学……………教職員から日本の教育や学校の取り組みについて研修員に説明がありました。

- 内容** 学校が企画するプログラムへ来日中の研修員を派遣します。
企画および実施は、依頼団体側でしていただきます。
- 対象** 学校等の教育機関、地方自治体、市民団体など
- 費用** プログラムにかかる経費（通訳、給食交流時の食費など）は依頼団体でご負担ください。
- 問合せ先** JICA 関西海外技術研修員との交流担当
TEL. (078) 261-0384 (直通) FAX (078) 261-0357 Email:jicaksic-ed1@jica.go.jp



体験者の声

いろいろな国の研修員と交流しました。

- 世界にはさまざまな国があり、文化があること、普通の授業以上に様々なことを感じ考えてくれたように思います。
- 研修員の方が持ってこられた写真や貨幣を見て、生徒たちは自分たちの知っているものとの違いを感じていました。

日本の国際協力を知ろう！

JICA関西訪問プログラム



▲ JICAプラザ関西(広報展示室)で、見て！触って！感じる！



▲ 開発途上国での体験談を聞く



▲ 月替わりのエスニック料理の一例

国際協力の国内の現場である JICA 関西を訪問し、国際協力や異文化について学び、日本と世界とのつながりに気付くプログラムをご用意しています。

学校の社会見学や修学旅行、教員研修などにも多くご利用いただいています。

■基本的なプログラム(120分)

- 10:00-10:30 JICA 事業概要説明（世界の国の現状や、JICA の仕事について知ろう！）
 - 10:30-11:30 JICA海外協力隊体験談（JICA ボランティアの活動や派遣された開発途上国の様子を知ろう！）
 - 11:30-12:00 JICA 関西 館内案内（施設見学、民族衣装体験など）
- *その他、エスニック料理ランチ（有料）などのプログラムもご用意できます。

内容 上記のプログラム（120分）を基本としてご用意していますが、ご要望に応じてアレンジが可能です。まずは、ご相談ください。※校外学習などであっても個人からの依頼には対応しません。特定の国、地域、専門的なテーマのご依頼には対応できない場合があるのでご了承下さい。

対象 学校等の教育機関、地方自治体、市民団体など

人数 最大 80 名程度まで対応できます。1 名～5 名などの少人数の場合は対応できない場合があるのでご了承下さい。

実施日 通 年（月曜日～金曜日、土日祝を除く 10:00-17:00）

費用 無 料

問合せ先 JICA 関西訪問プログラム担当

TEL. (078) 261-0384 (直通) FAX. (078) 261-0357 Email: jicaksic-ed1@jica.go.jp

訪問プログラム



URL

体験者の声

JICA 関西に行きました。

- 日本がなぜ国際協力を行っているのかが分かりやすく説明して頂きました。
- 日常生活の中でも問題意識を持つこと、自分にできることは何かを見つめることができました。
- 普段あまり触れたり感じたりすることがない途上国や国際協力という事柄に関して考える機会となりました。

JICA 関西訪問プログラム <依頼書様式見本>

年 月 日

独立行政法人国際協力機構
関西センター

貴校・団体名称
代表者名 (公印等)

件 名 (依頼)

注意：貴校・団体の公文書
として送付いただきます。
(押印をお願いいたします。)

記

1. 日 時： 年 月 日 〇〇時〇〇分から〇〇時〇〇分まで
2. 場 所： JICA 関西
3. 目 的： (貴団体のご意向・期待する効果をご記入ください。)
4. 対象者・人数： (対象学年や年代、人数をご記入ください。)
5. 内 容： 添付の申込書のとおり (次ページに申込書様式があります。)
6. 備 考： (特記事項がありましたらご記入ください。)
7. 今後の手続き等については、JICA 関西が開発教育支援事業にかかる業務を委託している公益社団法人青年海外協力協会と直接行うことを了承いたします。

以 上

※上様式は、JICA 関西 HP の JICA 関西訪問プログラムのページ からダウンロード可能です。

⇒<https://www.jica.go.jp/kansai/enterprise/kaihatsu/houmon/index.html>

送付先： JICA 関西訪問プログラム担当

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2

※お手数ですが、公文書として押印の上、郵送にてご提出ください。

訪問プログラム



URL

JICA関西訪問プログラム <申込書>

記入日 年 月 日

依頼団体名			
連絡先	住所：〒 _____ 府/県 TEL. (_____) _____ FAX. (_____) _____ 担当者名： _____ (連絡可能な時間帯： _____) E-mail：(<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 学校)		
実施希望日時	年 月 日 (_____) : _____ ~ _____ :		
対象者・人数	対象者： _____ 人数： _____		
希望内容	<input type="checkbox"/> JICA事業について知りたい <input type="checkbox"/> JICA海外協力隊の活動体験談を聞きたい <input type="checkbox"/> 館内見学をしたい <input type="checkbox"/> 民族衣装に触れたい <input type="checkbox"/> 食事をしたい <input type="checkbox"/> その他 (_____)		
講師に関する希望 <small>※JICA ボランティア経験者の体験談をご希望の方</small>	講師の人数(_____)名 講師決定希望期限 _____ 年 _____ 月 _____ 日頃 まで その他、体験内容、派遣国、専門分野などについて希望があればご記入下さい。		
当日のプログラム詳細 (必ず記入ください。資料等もある場合添付をお願いします)	時間	活動内容	備考
行事計画	目的： ねらい： 年間計画における本行事の位置づけ： 事前・事後の取組み：		
JICA プログラム 利用実績	<input type="checkbox"/> 今回初めて	<input type="checkbox"/> 過去に利用した経験がある (利用年度 _____) <input type="checkbox"/> 講師派遣 <input type="checkbox"/> JICA 事業説明 <input type="checkbox"/> JICA 研修員交流 <input type="checkbox"/> その他	

※上様式は、JICA 関西 HP の JICA 関西訪問プログラムのページ からダウンロード可能です。

⇒<https://www.jica.go.jp/kansai/enterprise/kaihatsu/houmon/index.html>

送付先：JICA 関西訪問プログラム担当

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 FAX. (078)261-0357

E-mail : jicaksic-ed1@jica.go.jp



世界を見つめよう！

JICA国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト

国際社会の中で自分ができることは何か、また、自分たち一人ひとりがどう行動すべきかについて考えてもらうことを目的にエッセイコンテストを実施しています。

開発途上国の状況、友達との会話や学校の授業、本や新聞などを通して感じたこと、自分自身の体験から知ったことなどを基にエッセイを書いてみませんか？

上位入賞者は、JICA が活動している開発途上国へ赴き、実際にその国の現状を見て聞いて感じる体験をすることができます。夏休みの課題として、是非ご応募ください。



■中学生の部 外務大臣賞

たこ焼きには「世界」が詰まっていた！

関西創価中学校 2年 武田 美紀子さん

「今夜は、たこ焼きパーティー！」

これは私の住む大阪では、多くの家庭でよく聞く表現で、端的に言うと、たこ焼きを、みんなで焼いて晩ご飯に使うということだ。「粉もの文化」と表現される大阪の食文化。中でも「たこ焼き」は、ソウルフードとも表現される大阪府民の一押しの食べ物だ。

私の父は、関東地方の出身なので、一家に一台「たこ焼き器」が備えられている大阪の「普通」には、とても驚いたらしい。そんな父も大阪に暮らすこと三十年、今では「たこ焼きパーティー」の一番のファンだ。

先日、家族でたこ焼きを作っていた時に、何気なく父が言った一言に私はとても驚いた。

「たこ焼きの材料の中で、食糧自給率百パーセントは、青のりくらいやで！たこ焼きは、世界に支えられているということやな！」

大阪名物「たこ焼き」が、世界の国とのつながりの中で、作られていることに興味を持った私は、さっそく調べてみることにした。

いろいろな資料で調べると、「ソース」・「小麦粉」などのたこ焼きの材料で、自給率百パーセントは、青のりくらいだ。主役のタコについて更に詳しく調べてみることにした。タコは国内の漁港でたくさん水揚げされている。でも、国内産のものは値段がすごく高い。実際に近所のスーパーで、その違いを調べてみると外国産と国産では、百グラム当たり百円もの値段差があった。明石産のタコなどは、

高級食材の扱いになっている。外国産のものは「モロッコ産」や「モーリタニア産」のものが目立った。この二つの国は、地図で調べるとアフリカ大陸の西部にある。たこ焼き文化は、遠く離れた西アフリカの国々から輸入されるタコの恩恵が大きいことを知った。驚いたことに、これらの国ではタコを食べる習慣がないようだ。また、西アフリカのタコを日本の私たちが手に入れるには「冷凍保存する技術」「輸送の技術」「国家間でのルールを作ること」など、多くの人々の力が必要だ。たこ焼きに詰まっている人々の努力がすすぎで、なんだか感動すら覚える。

一方で、タコを捕りすぎて、西アフリカの海で、捕れるタコが少なくなるという現象も起きているようだ。日本は、かつて捕りすぎによる漁獲量の急激な減少を経験した。水産資源を持続的に手にしていくには、一定の制限が必要だ。日本の私たちは、そうした知識や技術を世界に伝えていくことで、与えてもらうことへの恩返しができると思う。

私の好きな言葉に「飲水思源」という言葉がある。井戸の水を飲むときに、井戸を掘った人の苦労や努力に感謝することの大切さを教えた言葉だ。私たちの生活は世界とのつながりの中で得た「モノ」にあふれている。そこに込められた「人々の努力」に思いを寄せるとき私たちの生きる「世界」は「感謝」でつながることができると思う。

たこ焼きには、「世界」が詰まっていた！

対 象 全国の中学生、高校生

内 容 テーマは毎年変わります

詳細 JICA 地球ひろば HP の JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテストのページをご確認ください。

⇒<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/index.html>

エッセイコンテスト



URL

国際協力を体感！

職場体験

学校現場で多く取り入れられているキャリア学習をお手伝いします。

※ 学校からのお申込のみの対応になります。

JICA 関西の仕事を体験しながら、国際協力を身近に感じてもらうプログラムです。



- 内容** JICA プラザ関西等の広報素材（webページや展示品）の作成など
- 対象** 中学生、高校生（受入人数は各校1名～4名で、通常他校との同時受入です。）
- 実施日** 5～6月、夏休み、10～11月の時期（1日から5日間程度の受入となります。）
※受入の可能な時期や人数は直接 JICA 関西 開発教育支援事業担当までご相談ください。
- 費用** 無料（交通費、食費、活動期間中の保険加入料は依頼元でご負担ください。）
- 詳細** JICA 関西 HP の中学生・高校生の職場体験の受入れについてのページをご確認ください。
⇒<https://www.jica.go.jp/kansai/enterprise/kaihatsu/job/index.html>



体験者の声

将来なりたい職業の視野が広がりました。

- いままでの自分の知っている世界をもっと広げ、自分の知らない世界があることに気付くことが出来ました。
- 今回の体験を通して、改めて世界中の人とつながる仕事がしたいという気持ちが強くなりました。

先生のお役立ちサイト

JICA 地球ひろばによる教員向けのお役立ちサイト「開発教育・国際理解教育サイト」では、授業の実践やより一層の充実を目指す教員の皆様のために、様々な情報を提供しています。

授業の指導案や実践事例、教材、国際社会の情報等を掲載していますので、ぜひご覧ください。

開発教育・国際理解教育サイト

⇒<https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/index.html>



国際理解教育・開発教育支援教材（例）

教育現場で役立つ教材を無料で提供しています。ホームページからもダウンロードすることができます。

- 学校に行きたい！
- どうなってるの？世界と日本
- 共につくる私たちの未来



開発途上国の子どもの問題や国際協力について考える



ごはん編、ヒト編、モノ編、エネルギー編それぞれの分野で日本と世界のつながりを紹介



SDGsの基本を日本の国際協力や各国の子どもたちの紹介も交えて学ぶ

世界に飛び立つ！

教師海外研修

開発教育／国際教育に取り組んでいる先生を、国際協力の現場へ派遣し、その経験や学びを活かし、児童や生徒への授業を実践していただきます。

海外研修では、実際に海外の現場に足を運ぶことで、文字や映像ではわからない開発途上国の現状を目の当たりにすることができます。現地の学校訪問、JICA 事業の現場視察や現地の人々の生活状況を調査し、帰国後の授業実践に向けた材料収集を行います。



- | **対 象** 開発教育・国際教育に関心のある学校教員および教育委員会指導主事
- | **募集期間** 4月上旬～5月中旬
- | **派遣人数** 関西2府4県から8名程度
- | **事前研修** 6月～7月 | **海外研修** 8月上旬頃
- | **事後研修** 8月 | **所属先での授業実践** 8月～12月 | **授業実践報告会** 翌年2月頃
- | **費 用** 【JICA 負担】 海外渡航費、海外旅行保険料、空港使用税など
【参加者負担】 現地宿泊代、食費、旅券取得時に必要な費用、予防接種料など
- | **詳 細** 派遣国、応募要項など詳細は JICA 関西 HP 教師海外研修のページをご確認ください。

教師海外研修



URL

体験者の声

盛りだくさんのプログラムで、毎日新しいことを学び感じられる研修であった。

- 今後の教師生活の中においても、いろいろと振り返り、見つめなおし、また新たな視点を持つことができました。こうした JICA の制度のおかげで、個人ではできない研修ができたことは、教師生活では得ることのできない研修であったと思います。多くの先生方にも伝え、薦めていきたいと思っています。



授業に役立つ！

開発教育指導者研修

開発教育って？参加型学習って？

どんな授業をしたら、効果的に子ども達に伝えることができるんだろう？

そんな先生方のために、地球上で起こる様々な問題や異文化を理解するための教材体験や、参加型ワークショップの実践方法を学ぶセミナーです。JICA 関西では、滋賀県、京都府、大阪府、大阪市、兵庫県、奈良県、和歌山県で実施しています。



- 内 容** 開発教育／国際教育実践者の講演、ワークショップ体験など
- 対 象** 学校教員、教育関係者、学生など開発教育・国際教育に関心のある方々
- 実 施 日** 各府県で開催時期や内容詳細は異なりますので、JICA 関西 HP イベント情報をご確認ください。
- 費 用** 無 料（交通費、食費は参加者負担）

イベント情報



URL

体験者の声

国際教育・開発教育の歴史と発展がよく分かりました。

- 実践的な方法が学べ、これから実際の授業で活用できると思いました。
- 体を動かして参加することで、より平和や国際問題について考えることができました。
- 実践的ロールプレイから今の日本の問題も見えて、とても面白かった。
- ワークショップではたくさんの方々の考えを知ることができ、大変参考になった。

本パンフレットに関する各種お問い合わせ

JICA 関西（独立行政法人国際協力機構 関西センター）市民参加協力課 開発教育支援事業担当

住所：〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2

TEL. (078)261-0384（直通） FAX. (078)261-0357

E-mail: jicaksic-kaihatsu@jica.go.jp

[問合せ受付時間：土・日・休日を除く 10時から 12時まで／13時30分から 17時まで]

開発教育



問合せメール



あなたの街の JICA デスク 国際協力推進員

国際協力推進員は「地域の JICA 窓口」として、2 府 4 県で国際協力のご相談に応じています。国際協力をしてみたい、JICA ボランティアに参加したい、開発教育について相談に乗ってほしい…など、お近くの国際協力推進員にお気軽にご相談ください。



- JICA滋賀デスク**
配置先: 公益財団法人滋賀県国際協会
TEL: (077) 526-0931 FAX: (077) 510-0601
- JICA奈良デスク**
配置先: 奈良県外国人支援センター
TEL: (0742) 81-3830
- JICA京都デスク**
配置先: 公益財団法人京都府国際センター
TEL: (075) 365-7786(直通) FAX: (075) 342-5050
- JICA和歌山デスク**
配置先: 公益財団法人和歌山県国際交流協会
TEL: (073) 435-5240 FAX: (073) 435-5243
- JICA大阪デスク**
配置先: 公益財団法人大阪府国際交流財団
TEL: (06) 6966-2400 FAX: (06) 6966-2401
- JICA兵庫デスク**
配置先: JICA関西 市民参加協力課
TEL: (078) 261-0384(課直通) FAX: (078) 261-0357

(写真提供: 川崎芳勲)



独立行政法人国際協力機構 関西センター (JICA 関西) 市民参加協力課
〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2
電話: (078)261-0384(課直通) FAX: (078)261-0357
URL: <https://www.jica.go.jp/kansai/>



2021年3月発行